

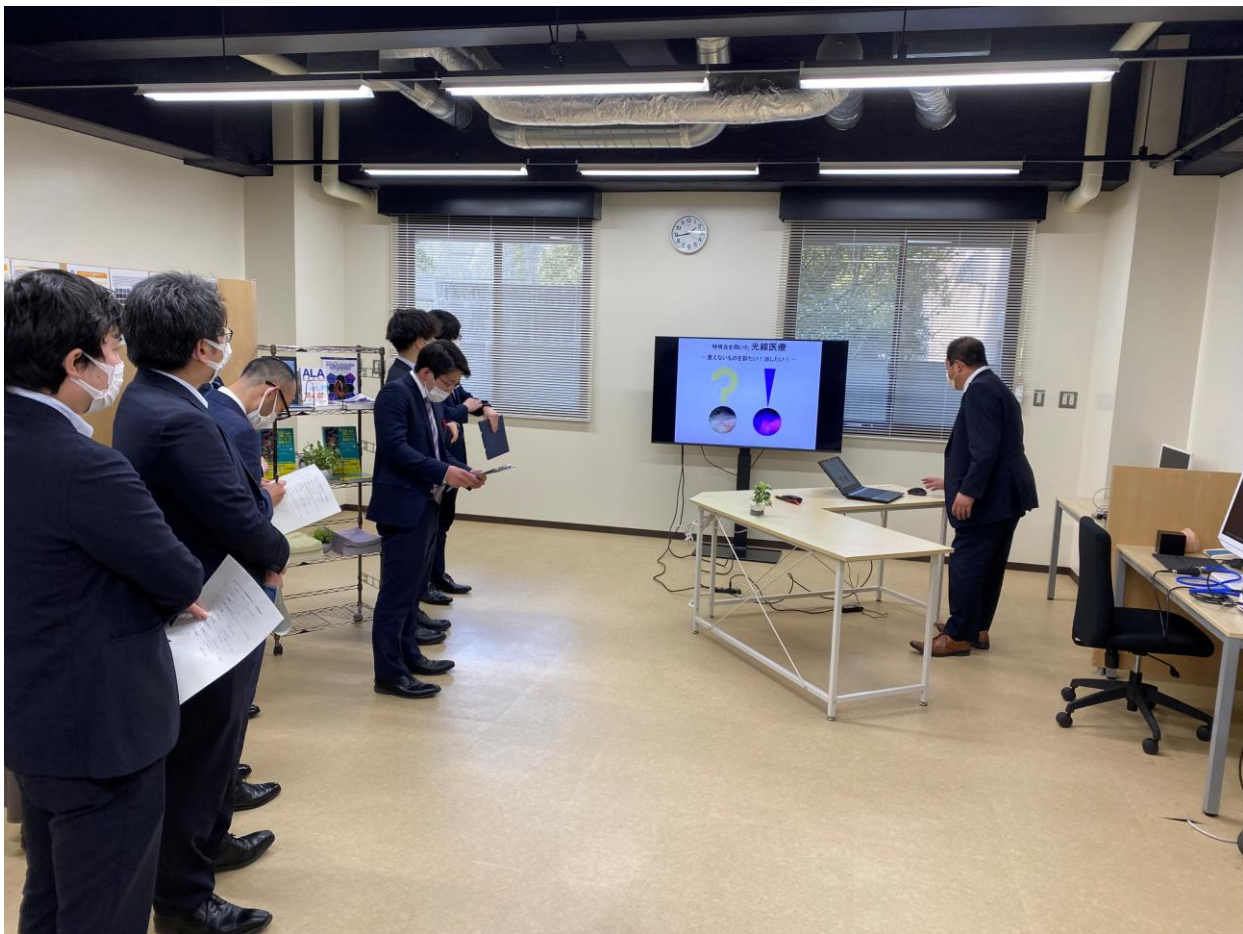
財務省および文部科学省の担当職員が光線医療センターを訪問

2025年3月17日(月)に、財務省および文部科学省の担当職員が高知大学医学部を訪問し、附属病院および光線医療センターを視察されました。

医学部および附属病院の概要説明を受けられ、その後の視察では、光線医療センターの光線医療に関する専用の医療機器が展示してあるショールームにて、医学部長かつ光線医療センター長である井上啓史先生より、光線医療センターが取り組む最先端の光線医療技術について説明がありました。特に、5-アミノレブリン酸を用いた光線力学診断(PDD)や インドシアニンググリーン(ICG)を用いた近赤外線光診断(ICG蛍光法)などの光技術が紹介され、その特長や医療現場での活用について解説されました。

さらに、専属スタッフのAnantya Pustimbara先生による光線医療センター全体の紹介に続き、重久立先生によるPDDのデモンストレーションも実施され、担当職員らに光線医療の可能性をより深く理解していただく貴重な機会となりました。

光線医療の進歩が、一人ひとりの未来に寄り添う医療の実現につながることを心より願っております。



光線医療 関連発表・講演

下記の光線医療関連の学会・講演が行われました。

2025年3月20日一般社団法人先制医療推進機構SPECIAL SEMINAR 札幌

[筆頭] 井上啓史

「最先端の癌医療 ― ALAを用いた光線医療―光による癌のスクリーニング！診断！そして治療！」

2025年3月6日第17回日本ロボット外科学会学術集会 宇都宮

[筆頭] 瀬尾 智

「当科におけるICG蛍光ナビゲーションロボット支援肝切除の検討」

光線医療センター ニュースレター

2025年 3月 25日 発行

発行責任者・編集責任者：井上 啓史

（高知大学医学部 光線医療センター センター長）

文責：福原 秀雄

<https://www.kochi-u.ac.jp/kms/CPDM/index.html>